



1_本市からの出場選手で表彰台を独占した3km小学生女子(5・6年生) 2_晴天のもと、勢いよくスタートを切る選手たち

3年ぶりに「激坂」を疾走！

第36回しろいし蔵王高原マラソン

9月18日、南蔵王野営場を発着点とする「第36回しろいし蔵王高原マラソン」を開催しました。同大会は新型コロナウイルス感染症の影響から2度の中止を余儀なくされ、3年ぶりの開催。全国でも稀なアップダウンの「激坂」コースに、全国から集まったランナー1,175人が挑戦。アップダウンや終盤の激坂に苦しそうな表情を浮かべながらも、沿道の声援を力に走り抜きました。

【本市の出場選手で3位以内の入賞者】(敬称略)

- ・3km小学生男子(4年生以下) 2位 志田勇也
- ・3km小学生男子(5・6年生) 2位 柏隆翔
- ・3km小学生女子(4年生以下) 2位 須川あさひ
- ・3km小学生女子(5・6年生) 1位 南椛華、2位 皆川虹空、3位 日下ひまり
- ・5km50～59歳男子 3位 菊地篤
- ・5km高校生～29歳女子 3位 杉虹海
- ・10km高校生～29歳男子 3位 遠藤晴心
- ・10km50歳以上女子 3位 山田洋子

新米シーズン突入！

白石産ササニシキ新米試食会

10月5日、かつて食味日本一に輝いた白石産「ササニシキ」の復活を目指す「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」が、小原温泉ホテルいづみやで新米試食会を開催しました。

試食会には、市内の旅館経営者や関係事業者など約50人が参加。ふっくらと炊きあがったササニシキの香りと食感を堪能しました。試食した人は「粘り気が少なく、さっぱりとした味で甘みを感じられました。ご飯だけでもおいしいですね」と満足そうに話してくれました。



▲今年は寿司組合の協力でおすしも試食

伝統行事に児童が挑戦

大鷹沢「八枚田」で稲刈り



▲鎌で稲を次々に刈り取る児童

10月5日、歌舞伎や浄瑠璃の演目で有名な仇討ち話「白石噺」伝承の地である、大鷹沢地区「八枚田」でもち米の稲刈りが行われました。

この日は、大鷹沢小学校の児童3・4年生10人と地元の方々が集まり、雨でぬかるんだ田んぼに足をとられながらも稲を刈り取っていきましました。収穫されたもち米はおもちにして、児童や地元の方々に振る舞われる予定です。

八枚田の維持管理は、白石陽光園の皆さんにご協力をいただいています。

楽しみながら体力づくり

グラウンド・ゴルフ場「若林弁天パーク」落成式

10月17日、大鷹沢地区に整備していた白石市グラウンド・ゴルフ場「若林弁天パーク」が完成し、落成式を行いました。施設は移転した障害者支援施設「不忘園」跡地を宮城県から譲り受け、生涯スポーツを通じた市民の健康維持・増進と地域活性化を図ることを目的に整備を進めてきたものです。

この日の落成式には、関係者と大鷹沢小学校の児童80人が列席。大鷹沢小学校全校児童による元気な合唱で幕を開け、あいさつで山田市長は「世代を問わず誰でも楽しめるグラウンド・ゴルフを通して市民の皆さんの交流が図れる施設になることを願います」と話しました。落成式の最後にはプレマッチが行われ、山田市長や大鷹沢小学校の児童などが完成したグラウンド・ゴルフ場でプレーを楽しみました。

若林弁天パークは大鷹沢まちづくり振興協議会が委託を受け、運営を行っています。



1_オープンした若林弁天パーク 2_プレマッチでグラウンド・ゴルフを体験する児童 3_「若林弁天パーク」を命名した佐藤皇我さんには賞状とササニシキ30キロが贈られました

地区民一丸となって

第94回白石市民体育大会

10月9日、「第94回白石市民体育大会」を白石川緑地公園陸上競技場で開催しました。同大会は台風19号および新型コロナウイルスの影響により中止となり4年ぶり、令和になってから初めての開催となりました。

この日は、15地区から約600人が参加。綱引きや玉入れ、200歳リレーなどの競技に熱戦を繰り広げました。地区の威信をかけた戦いは、3連覇を狙う柳町を破り見事鷹巣が総合優勝。地区民間の交流を深める大会となりました。



▲4年ぶりの大会で優勝を飾った鷹巣